

テナキシル錠 1 mg、テナキシル錠 2 mg

【この薬は？】

販売名	テナキシル錠 1 mg TENAXIL Tablets 1mg	テナキシル錠 2 mg TENAXIL Tablets 2mg
一般名	インダパミド Indapamide	
含有量 (1錠中)	1mg	2mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、非チアジド系降圧剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、末梢血管平滑筋の収縮反応を抑制するとともに、尿量を増やすことにより血圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

本態性高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・無尿の人

- ・急性腎不全の人
- ・体液（血液、尿など）中のナトリウム、カリウムが明らかに減少している人
- ・過去にチアジド系薬剤またはその類似化合物（スルフォンアミド誘導体）で過敏症のあった人
- ・デスマプレシン酢酸塩水和物（ミニリンメルト）を夜間多尿による夜間頻尿に使用している男性

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・重篤な冠動脈硬化症または脳動脈硬化症のある人
- ・本人または両親、兄弟に痛風、糖尿病のある人
- ・下痢、嘔吐（おうと）のある人
- ・高カルシウム血症、副甲状腺機能亢進症のある人
- ・減塩療法中の人
- ・交感神経切除後の人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・進行した肝硬変症のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・妊娠または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬[デスマプレシン酢酸塩水和物（ミニリンメルト）（男性における夜間多尿による夜間頻尿に使用している場合）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

ただし、少量から開始して徐々に増量されます。

販売名	テナキシル錠 1 mg	テナキシル錠 2 mg
一回量	2 m g (2 錠)	2 m g (1 錠)
飲む回数	1 日 1 回朝食後	

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

水分および電解質の異常（低ナトリウム血症、低カリウム血症、血液量減少）やそれに伴う症状（痙直（けいちよく）（手、足、体幹の筋肉がつっぱりスムーズに

動かない)、低血圧(脱力感、めまい)、錯乱(注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする)、多尿(尿量が増える)または乏尿(尿量が減る))があらわれるおそれがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・利尿効果(尿量が増える)が急激にあらわれることがあるので、電解質異常(体液中のナトリウムやカリウムのバランスが崩れること)、脱水(喉が渇く、体重が減る、手足がつる)に十分注意してください。
- ・この薬を使い続ける場合、電解質異常があらわれることがあるので定期的に血液検査が行われます。
- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械を操作する際には注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう(トキシックエプιδーマルネクロライシス:テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん(スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形滲出性紅斑 たけいしんしゅつせいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節や喉の痛み
低ナトリウム血症 ていナトリウムけっしょう	吐き気、頭痛、嘔吐(おうと)、けいれん、意識の低下
低カリウム血症 ていカリウムけっしょう	体に力が入らない、体が動かせない、息苦しい、お腹が張る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、けいれん、体に力が入らない、体が動かせない
頭部	頭痛、意識の低下
眼	目の充血やただれ
口や喉	唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐（おうと）
胸部	息苦しい
腹部	お腹が張る
手・足	関節や喉の痛み
皮膚	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する

【この薬の形は？】

販売名	テナキシル錠 1 mg	テナキシル錠 2 mg
PTP シート		
形状	フィルムコーティング錠 (割線入り) 	糖衣錠 
直径	7.7mm (長径) 6.2mm (短径)	6.6mm
厚さ	2.6mm	3.6mm
重さ	125mg	130mg
色	白色～帯黄白色	淡桃色
識別コード	NF323	NF324

【この薬に含まれているのは？】

販売名	テナキシル錠 1 mg	テナキシル錠 2 mg
有効成分	インダパミド	
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、クロスカルメロースナトリウム、ヒプロメロース、アラビアゴム末、タルク、ステアリン酸マグネシウム、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、酸化チタン、マクロゴール 4000、大豆レシチン	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、バレイショデンプン、アラビアゴム末、タルク、ステアリン酸マグネシウム、精製白糖、沈降炭酸カルシウム、ゼラチン、マクロゴール 6000、カルナウバロウ、赤色 3 号

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・室温（1～30℃）で保管してください。
- ・テナキシル錠1mgは、開封後は湿気を避けて保管してください。
- ・テナキシル錠2mgは、開封後は光を避けて保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アルフレッサ ファーマ株式会社

(<https://www.alfresa-pharma.co.jp>)

製品情報部 くすり相談室

電話番号：0120-060334

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）